

幻の小田原ホテル

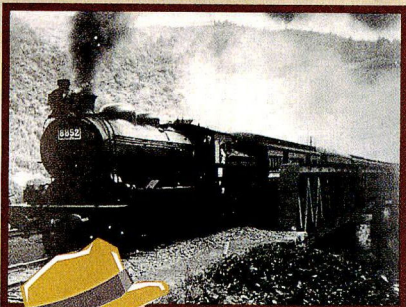
君知るや、海あり、山あり、お城ありの
風光明媚なる小田原の地に、大正六年吉日、
本邦初の一大リゾートホテルが計画さる。
かのF・L・ライト氏による自然満喫設計！



・大正9年省線小田原駅開業予定



・海ト山トニ囲マレシ小田原ハマサニ「リゾート」ノ名ニフサワシイ



・交通至便 東京ヨリ
汽車ニテ二時間



・北条氏ノ栄華ヲ
偲バルル小田原城跡



●主な内容	
◆幻の小田原ホテル	2
◆特集・高齢者介護を考える	5
◆市長対談：山田大一さん	12
◆分別収集から半年 大きな成果	14

幻の小田原ホテル

今まで2回にわたって小田原の忘れられた歴史や人々を浮世絵を手がかりに探ってきた「おだわら百科事典」。
 3回目の今回は、帝国ホテルを設計したことなどで知られる近代建築の巨匠「ライト」という一人の建築家が残した一枚の図面から、失われた小田原の歴史をたずねてみることにしましょう。

「小田原ホテル」という建物をご存知ですか？
 このホテルは、近代建築史に偉大な業績を残したアメリカの建築家、フランク・ロイド・ライト（一八六七～一九五九）が小田原に設計したものです。

一九一七年（大正6年）に設計された「小田原ホテル」は、長い間、計画だけで終わったものと思われていました。しかし、実際にはほぼ完成していたという証言や写真がわずかに残っているのです。

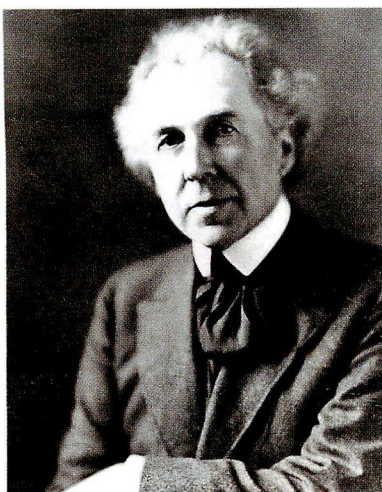
小田原ホテルの設計趣旨を語る資料には、「東京の帝国ホテルは、いわゆるシティホテル。日本の風光を好む海外からの観光客の宿泊には不向きである。東京よりわずか2時間のこの小田原に、リゾートホテルを設計した」といった内容が述べられています。

敷地測量図には樹木の位置がすべて示され、建物の位置は慎重に定められています。伐採する樹木は5本しかなく、その設計は、自然を生かした、きわ

めて魅力に富んだものでした。浮世絵をはじめとする日本美術を深く愛したライトは、日本の美術の「自然と共生する」建築のあり方を、このようにして設計に取り入れたのではないのでしょうか。

小田原ホテルは、ホテルとしての機能だけでなく、町民倶楽部（当時小田原はまだ市ではなく町でした）や林間学校、植物園、児童運動施設などを持つ一大アミューズメントセンターの一つとして計画されていました。当時のホテルとしては、きわめて斬新な発想だったといえるでしょう。

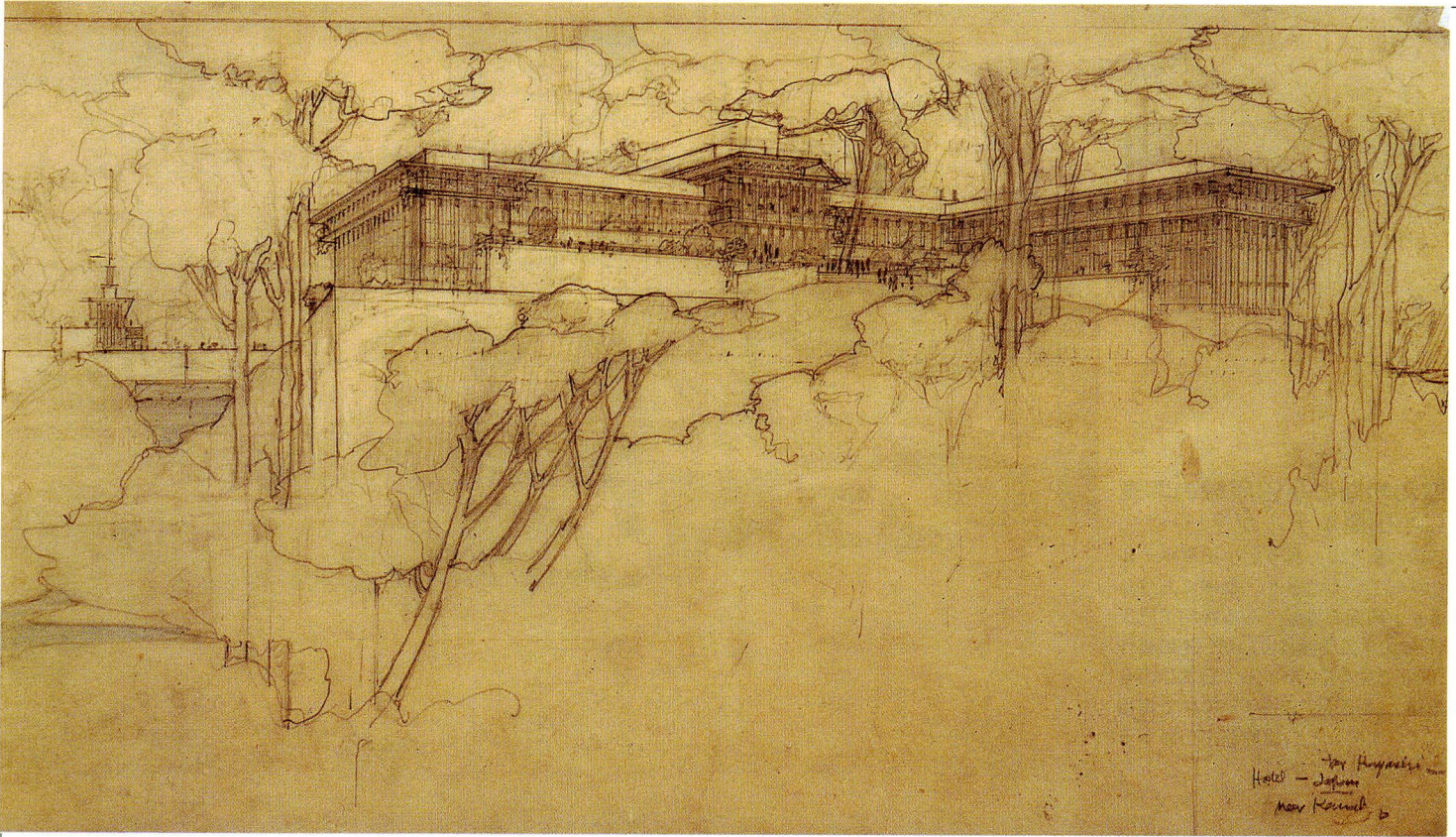
古くから宿場町として栄え、明治から大正にかけては、鉄道の開通とともに山県有朋をはじめ、各界大物の保養地や別荘地として脚光をあびた小田原。この小田原ホテルは、経済的な理由などで、ついに開業には至りませんでした。しかし、全国に先駆けたりゾート施設を計画した人々の残したわずかな資料からも、今もめんめんと息づく小田原のエネルギーを感じることができます。



小田原ホテルの設計者・F.L.ライト

建築家として有名なライトは熱烈な日本美術の愛好家でもありました。来日して帝国ホテルや福原有信邸（箱根にあった初代資生堂社長の住宅建築）を設計する以前にも、ライトは日本を旅行しています。日本の美術品を収集するのが目的でした。その旅行中、ライトは箱根にも滞在しており、宿泊したホテルには彼のサインが残っています。収集した日本の美術品は膨大な数にのぼり、シカゴで浮世絵の展覧会を開催したり、400点以上の作品をメトロポリタン美術館に売却したりしています。現在も残るコレクションの中には、桃山時代の障壁画など、非常に貴重なものも何点が含まれています。

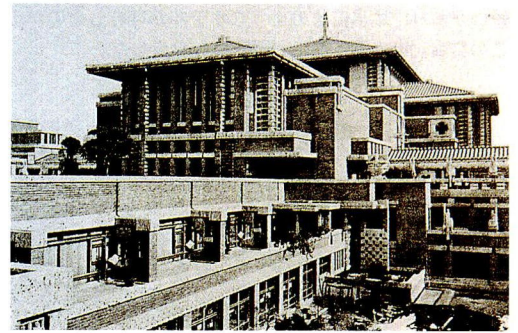
Photograph Courtesy The Frank Lloyd Wright Archives, Scottsdale, AZ



小田原ホテルを描いた唯一の資料

ライトが1917年に描いた小田原ホテルの図面（ドローイング）です。自然と共生する建物を設計したライトの図面らしく、周囲の樹木も一緒に書き込まれています。ライトは、アメリカでも、設計事務所の建築家たちに、樹木や植物を描き入れることを勧めていました。ライトがこの図面を描いた時点では、小田原駅はまだ現在の駅舎が完成する以前で、交通が便利だとはいえませんでした。したがって、建物をとりまく樹木が、実際に現地でスケッチされたものかどうかはわかりません。建物の手前、右に傾いて生えている3本の樹木によく似た樹木は、ライトが愛好した歌川広重の浮世絵作品（「東海道五十三次之内亀山（雪晴）」1833-34）に描かれているものにそっくりですし、その作品の構図とこの図面の構図がよく似ているところなども、いささかうがった見方かもしれませんが、非常に気になるところです。現在残っている、小田原ホテル用地の実測図（左下図）で樹木の配置や高低を想像しながら描いた可能性もあります。しかし、箱根への自動車旅行もしているライトですから、実際にこの場所に降り立ってスケッチしたかもしれませんね。本当はどうだったのか、真実はもはや失われた時のかなたにあります。

Copyright ©1997 The Frank Lloyd Wright Foundation, Scottsdale, AZ

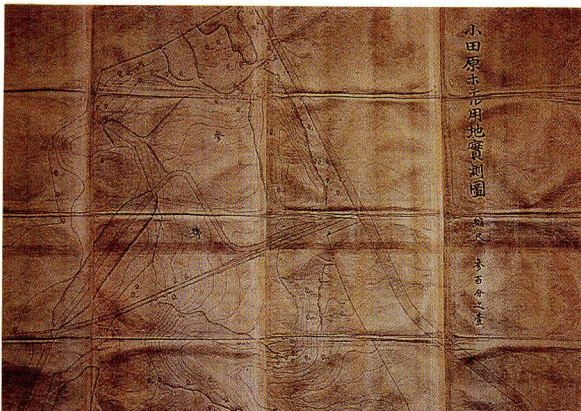


帝国ホテル

現在は、愛知県の明治村にその一部が移築されています。上の写真のようなアングルで、小田原ホテルの中央部分にある入口（ファサード）のデザインと比較すると、柱部分のデザインや窓の処理など、よく似た表現が多く見られます。

写真：『帝国ホテル』（洪洋社、大正12年）

『日本の建築 [明治 大正 昭和]』第9巻（三省堂、昭和55年）より転載

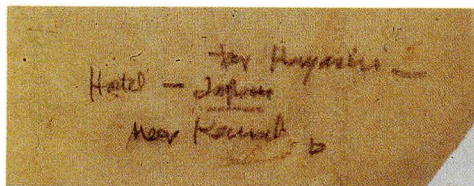


小田原ホテル用地実測図（瀬戸多美氏蔵） 部分

ライトの署名

ドローイングの右下にある署名を拡大すると「林（愛作）のために、ホテル 日本 鎌倉の近く」と読むことができます。

林愛作とは、アメリカから日本にライトを招いた人物で、当時は東京の帝国ホテルの総支配人でした。関東大震災の後、林愛作は総支配人を辞め、今度は関西（西宮市）に理想のホテル建設（甲子園ホテル：現在は武庫川学院が管理）をはじめます。そのときのパートナーは、ライトの日本における最愛の弟子であった遠藤新（あらた）でした。ライト風のデザインを持つこのホテルには、林愛作が小田原ホテルに実現しようとした夢の一部が実現されているかもしれません。



高齢者

高齢社会を迎え、大きくクローズアップされる高齢者対策。折しも介護保険法案が審議される中、特に高齢者の介護問題は差し迫った課題です。誰もが年老いる以上、これは単なる福祉問題でなく、一つの社会問題。決して他人ごとでなく、私たち市民一人ひとりが当事者としての意識を持って取り組む必要があります。また介護される人のみならず、介護する側も高齢者が多いこと、介護者自身の肉体的・精神的ケアが重要であることも見落とせません。今回は介護される本人のほか、介護する家族、それを支える専門スタッフを取材した生の声から、この社会問題に対して何が必要とされているのか、私たちは何をすべきかを一緒に考えてみましょう。

特集

高齢者介護を考える

1000日のドキュメント

介護

1000日のドキュメント

脳梗塞で倒れた土田さんの場合

寝たきりのおじいちゃんが

杖を持たずに散歩でできるようになった

土田源一さん(81歳)は3年近く前、脳梗塞で倒れました。妻と二人暮らしの生活で闘病するうち、寝たきりにまで状態は悪化。それがリハビリと妻のミツさん(82歳)の献身的な介護で、今では見違えるように回復しました。その約1000日のドキュメントです。

脳梗塞、それは雪の降る日 突然に

土田源一さんが倒れたのは平成7年の2月、雪の降る寒い日のことだった。家の中にいた妻のミツさんを息せき切って呼びに来たのは、見知らぬ通りがかりの人。源一さんが散歩中に脳梗塞を起こしたのだ。特に大病をすることなく暮らしてきた源一さんには、前ぶれとなる自覚症状もなかったという。寒い時期に起こりやすいという脳梗塞は突然、源一さんを襲ったのだ。

戦時中、海軍で鍛えた源一さんは身長176cm、体重は63kgという偉丈夫。一方、ミツさんは133cm、33kgと小柄だ。それでもミツさんは必死に夫の大きな体を抱え上げた。病院に連れて行かなくてはならない。倒れながらもまだ意識のあった源一さんを支え、自分自身もシヨッピングカートにつかまりながら、歩いて市立病院を目指した。

「普通に歩いても15分ほどかかる距離。今でもどうやって、あそこまで夫を連れて行けたのかわからない」とミツさんは語るが、まさに無我夢中。二人を迎えた市立病院の医師も驚いたという。

自宅で一人きりの闘病生活に

病院に着いた源一さんは、すぐ車椅子に移された。だが、すでにこのとき体は自由にならず、車椅子からすべり落ちてしまいう状態だった。病院ではすぐに検査が行われた。間もなく病名は脳梗塞と診断されたが、源一さんの場合は比較的軽微な症状で、入院は不要。毎月、薬をもらいに行くかわら、自宅での闘いが始まった。

そのころの源一さんの状態は、まだそれほど深刻ではなかった。体が少し不自由になり、おむつもあててはいたが、ミツさんが介助をすれば家の中で暮らすことは十分可能。鴨宮に住む長男も仕事帰りに毎日、様子を見に来るようになった。それまで使っていた石油ストーブでは、源一さんが歩くときに危ないと、エアコンも入れた。だが、市

のデイサービスに週一度通いながら送っていた闘病生活が、さらに悪化したのは今年の5月22日のことである。

玄関先で転倒、寝たきり状態に

今にしてふり返れば、22日直前のころの源一さんは具合が悪そうだったという。風邪ぎみだったようなのだが、22日には長男と大好きなパチンコに行くことになっていた。「風邪をひいた」と言えば、楽しみにしていたパチンコに行けなくなってしまうと考えた源一さんは、具合の悪さを隠していたらしい。そしてこの日、パチンコから帰ったたん、源一さんは再び倒れることとなる。

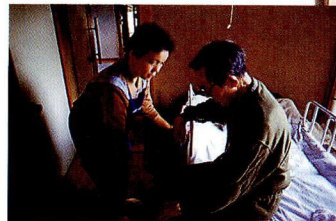
長男の話では、源一さんはパチンコを終えたころから様子がおかしかつた。帰り道でも途中のビルの壁に手を当て、つらそうに立ち止まってしまう。そうしながらやっと自宅に帰ってきたとき、玄関を目前に源一さんは転倒。「それまでふつうに歩いていたのが、ちよつと目を離したすきに突然小走りにバタバタと歩いたと思ったら、片足を軸に1回転して、倒れ込んでしまったんです」と長男は語る。

あわてて手をさしのべて源一さんの頭を支えたことと、下がコンクリートなどでなく地面だったことが幸いして、ケガは大事には至らなかったように見えた。が、腰に負った傷が赤く化膿した上、源一さんは「胸が痛い」と訴える。検査してみると、肋骨にひびが入っていたのだ。そのケガが快方に向かうのとは逆に、源一さんの状態は悪化していった。

いちばんつらかった苦闘の日々

寝たきりになった源一さんは、言葉もはっきりしない。おむつは依然あてていたが、あて方が悪かったせいもあり、粗相をして布団を汚すこともしばしば。食事もベッドまで運んで食べさせるといふように、すべて身の回りの世話もミツさんが行っていた。自分で箸を持って食

高齢者介護の奇蹟



べようとしても、ボロボロと下にこぼすような状態だったという。そんな中、ミツさんの負担は小柄な体を鞭打った。粗相の連続で山のようにたまる洗濯物が気になり、夜中の1〜2時に起きて、洗濯機を回したことも数知れない。

妹から「全部やってあげては回復しない」と言われたミツさんは、源一さんにテーブルで食事をさせようと台所に連れ出したこともある。だが、源一さんはいすに座ることができず、台所で倒れ込んでしまう。重い源一さんの体をミツさんは必死で引っ張り、廊下からベッドへと運んだという。

見かねた長男の「お世話を頼んだほうがいい」という意見で、ミツさんはホームヘルパーの応援を頼むことになる。おむつ交換などの世話に加えて週一度、入浴などのデイサービスを受けながら、闘病は続いた。が、ミツさんの疲労は限界に近づいていた。ミツさん自身も腰や肩の痛みが悩まされ、定期的に通院する日々。そんなとき、源一さんが市立病院にリハビリ入院することになる。リハビリをすれば、きつと回復できるはずという専門家の意見を受けてのことだ。

リハビリ入院で症状が劇的に快方に

当初、今年7月1日から1か月の予定だったリハビリ入院だが、回復の経過などを慎重に診ながら、9月11日まで結局2か月と10日入院することになった。病院では源一さんに8人のスタッフがつき、砂袋を手足につけて動かす訓練、階段の形をした段差を上り下りする

リハビリなどが行われた。それと同時に退院後の家でのケア、転倒してしまったときの対策、おむつは取れないことなどを協議。またミツさんにも「前は全部やってあげていたが、それがいけない」との指示も出された。

そんな中、源一さんの状態はだんだんよくなっていく。最初は手足もロボットのようになかなか動かなかったが、それがだんだん機能を回復。ミツさんは毎日、午前中から病院に通った。手足が少しずつよくなるとともに、源一さんのほかの症状も快方に向かい出した。

杖なしで歩けた、はっきり話せた

脳梗塞による軽度の痴呆がもたらす、つじつまの合わない言葉もなくなり、話しぶりもはっきりしてきた。以前はパジャマの上下をまちがえて着ることもあったが、それもなくなった。だが、いちばんの進歩は杖をつかずに歩けるまでに回復したことだ。こうして退院してからは、ホームヘルパーや訪問看護婦の助けも借りて、リハビリを続けながら暮らしている。

源一さんには今も、暑い夏でも寒気を訴えたり、突然泣き出すという症状がある。だが、排泄のコントロールもできるようになり、夜のトイレは自分で行ける。以前はボロボロこぼすばかりだったごはんも、まったくこぼすことなくきれいに食べられるようになった。

「こんなによくなった例は少ない」と言ってくれた医師の言葉を励みに、今も源一さんとミツさんの二人三脚は続いている。

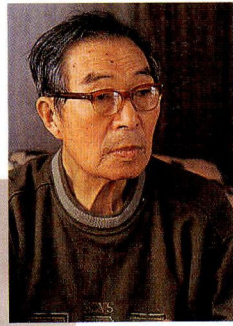


介護する家族の立場から

脳梗塞で倒れた土田さんの場合

高齢者の介護にどう打ち込むか、それをどう支えるか

高齢者の介護が必要になったとき、働きざかりの子供は現実的に時間を割けず、年輩いた伴侶が見るケースの多いのが実情です。そんな状況を経験した家族と、それを支える周囲の専門サポートスタッフの声をお届けしましょう。



不安で眠れない夜もあったけれど周囲に支えられてここまで来ました

妻 土田ミツさん (82歳)

3年近く、夫・土田源一さんの介護を続けてきたミツさん。厳しい介護生活と、そのときどきの心情を語ってくださいました。

おじいちゃんが倒れて、病名が脳梗塞だと聞かされたときは一瞬、「もうダメか」と思いました。もう生きているのが嫌になって、思わず泣いてしまったのを覚えています。でも入院は必要なく、自宅で介護することになったときは「私が、がんばらなくては」と思いましたね。とはいえ、介護はもちろん大変でした。いちばんつらかったのは、おじいちゃんの体が大きくなって重いこと。一人で介助したり、支えたりするのがきつくて、きつくて……。特に寝たきりになったときは、夜など、これから先のことを考えると眠れなくなることもありました。介護をする中でよく思い出したのは、私が30代でリユーマチを患っていたころのこと。よくおじいちゃんが私を背負って病院に連れて行ってくれていたんです。今度は私が介護をするようになったのですが、

私もポリプができたとき、肩と腰を痛めたりして通院するようになってんです。介護される側のおじいちゃんが言うんですよ。「オレが病院について行く」って。逆みたいでおかしいでしょ。

同じように、枯れた植木の剪定を職人さんに頼むと「オレが切るのに」と言ったり、リハビリ入院中は「家に帰ったら、オレがごはんの支度をしてやるよ」って言ったりね(笑)。この間、おじいちゃんのために家に手すりをつけたんですが、そうするとお金の心配までするし……。元氣になった証拠なんですよ。

リハビリ入院中に手紙をくれた郷里の友人に退院後、自分の手で返事も書けたんですよ。これも本当にうれしかったですねえ。それもこれも私一人の力でなく、周囲の方々のおかげだと思います。おじいちゃんが寝たきりになったとき、私しか面倒を見る者がいないのでは、この先どうなるのか不安でたまらず、「二人で生きてほしい」がない。息子に負担はかけたくない」と思ったのですが、息子は毎日、様子を見に来てくれたし、息子の家族も理解して協力してくれました。

それに気が滅入ったとき、助けになったのがホームヘルパーさんの存在。おじいちゃんのリハビリはもちろん、粗相の原因は私のおむつのあて方が緩かったから、などの細かいアドバイスもいただいて、本当に役立ちました。それに何より24時間、助けを求めれば来てもらえるという安心感が救いでした。近所の方たちが温かく支えてくれたのもうれしかったこと。心配して「最近いかがですか」と声をかけてくれたり、おじいちゃんが散歩しているのを見て、「さっき歩いてましたよ。よかったですね」と言ってくれたりね。

介護をしているときにいつも頭の中にあっただのは、一度寝つくともそのまま寝たきりになってしまおうという不安。それで、とにかくやらなきゃ、と思っていました。それで早めにリハビリ入院もさせたんですが、本当に早くしておいてよかったと思います。リハビリの力つてすごいと、あの回復ぶりを見て感じましたね。

今ではホームヘルパーさんのほかに訪問看護婦さんも来て、おじい

サポートする人の立場から

脳梗塞で倒れた土田さんの場合

ちゃんと一緒に私の健康チェックもしてくださっています。これほど心強いものですよ。ただ、私はこういうお世話を受けることができませんでした。市がやっている福祉の内容を知る機会はなかなか少ないですね。

土田さんのような回復を目指すには、ためらわず早く手を打つことです 介護支援センター相談員 関田智彦さん（34歳）

小田原で生まれ育った関田さんは福祉専門の大学を出て在宅介護支援センターの相談員に。土田さんのケア計画も担当しました。

土田さんと初めてかわりを持ったのは、平成7年のことです。倒れたばかりで入浴が困難ということで、週1回のデイサービスが始まりました。送迎して通所してもらい、入浴・食事・日常生活動作の訓練といったサービスです。楽しんで通っていたのですが、その後転倒して寝たきりに。それからデイサービスのほかに週7日、1日2回ホームヘルパーを派遣するようになりました。

寝たきりになったころには表情もほんやりと精彩がなく、笑顔も失われていたのですが、リハビリ入院をしてよくなってくと笑顔が戻ってきました。リハビリの効果で歩けるようになったうえ、以前は聞き取りにくかった言葉がはっきりしましたね。今では市立病院への通院とデイサービス以外の5日間、ヘルパーを派遣しています。毎日歩くことが大切、病院からはそう指導されましたが、奥さん一人では大変ですのでホームヘルパーが付き添うことになりました。

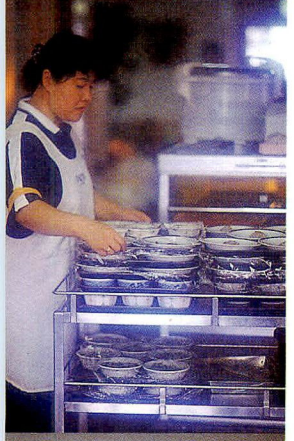
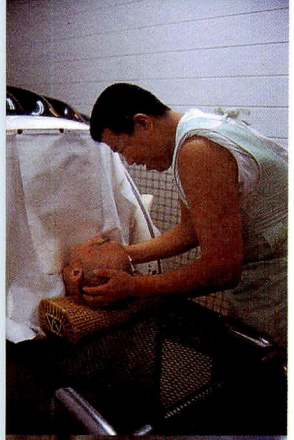
以前は土田さんが「こんなになっちゃって……」と泣けば、奥さんも「どうしよう」とノイローゼ寸前だったんですが、土田さんが元気になるにつれ、奥さんも元気になってきましたね。土田さんの場合は寝たきりになってすぐにリハビリ入院をし、退院後もすぐ支援もできたらよかったです。これが病院を出て何か月もたってからでは手遅れになることも。「お金がかかるんじゃないか」と思って、どうしようもなく悪くなつてから助けを求める人も多いんですが、早く手を打てば回復が早いのももちろん、最少の額で済むものです。「他人の世話になりたくない」と思う方、遠慮がちな方、家庭に入り込むホームヘルパーに抵抗を感じる方もいるでしょう。でも、もっと気軽に利用し

市役所に行って事情を話すと、ていねいに説明をしてくださるし、小田原は老人のための医療や福祉サービスをとてもよくやってくれている市だと思っています。それをもっと手軽に知る機会があると、私のように家族を介護している人は助かるのではないのでしょうか。

てほしいと思います。

在宅介護では介護される側はもちろんのこと、介護者自身の健康や精神状態もとても大切。介護する人が疲れ果ててつぶれてしまったら、在宅介護は成り立たないんです。「こうしてください」という具体的な訴えでなくてもいいから、「ここが困ってるんです」と言ってもらえれば、あとはこちらで責任を持ってどうすればベストかを考えます。介護者の状況をよく考えてケアプランを立てていきたいですね。

今、市民は介護に関するどんなサービスがあるのか、何かあったときどこへ相談すればいいのかなどの情報が必要。市としてもサービスの内容や情報の集め方を、もう少し宣伝してもらえるといいですね。



全国に先駆けた福祉政策、

画期的サービスを推進中

実際に高齢者の介護を体験した人から、市が行っている福祉政策の情報がつかみにくいという言葉が聞かれます。小田原市は、具体的にどんなサービスを提供し、財政的にどのように福祉に力を注いでいるのでしょうか。高齢福祉の現場から、現在の状況と展望を詳しくお伝えします。

たとえ寝たきりになっても 24時間体制で支援します

現在、小田原市に住む65歳以上の高齢者の中で介護を必要とされる方は7・4%。つまり介護を必要とする人は10人に一人弱で、元気な人が圧倒的に多いということです。そういう人たちが寝たきりになることなく、ますます元気に楽しく暮らしていただきたいというのが福祉の基本です。もちろん、それで介護が必要となった方や、寝たきりの方を支えていくための福祉も充実させています。

もしも寝たきりになってしまった場合には、さまざまな在宅生活の援助があります。左ページで具体的なサービスをご紹介します。また、その中には小田原市独自のもの、全国に先駆けてスタートさせたものなどがあります。たとえば24時間対応（巡回型）のホームヘルプサービス。これは寝たきりの高齢者で24時間体制の介護を必要とされる方のためのもです。小田原ではそれ以前から夜間・早朝のホームヘルプサービスを行っていたことから、24時間体制につなげるのが容易だったのです。通常は午後5時で終わる市役所に代わり、在宅介護支援センターが24時間体制でいろいろな相談を受け付けています。

またケアセンターのデイサービスに、日帰りだけでなく一泊二日のツウデイサービスを取り入れたのは全国でも小田原市が初めて。デイサービスを行っている施設の一つ、小田原市鴨宮ケアセンターは市で建物を作り、民間が運営するという公設民営の形を取っています。これは「中学校の学区に一つずつケアセンターを」という目標に沿って建てられたケアセンターの一つ。ちなみにデイサービスの利用料金は食費以外は全額公費負担になっています。

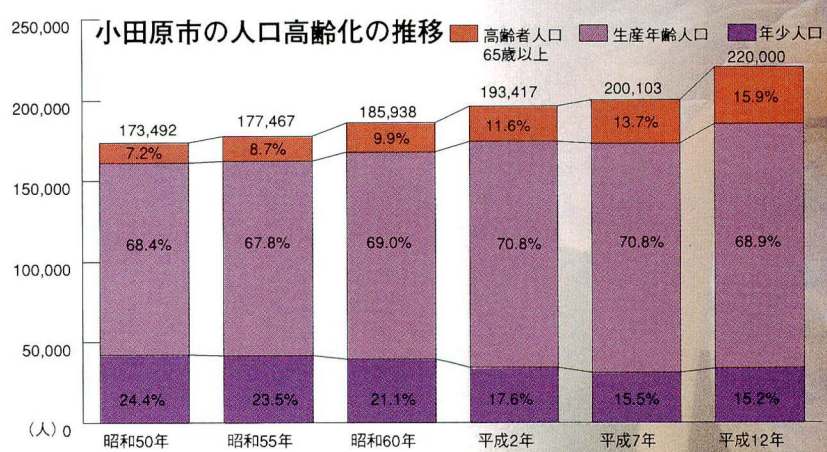
ひとり暮らし老人等緊急通報システムは、ひとり暮らしの高齢者などに緊急事態を通報するペンダント型発信機を無料で支給するサービスです。警備会社と連携して24時間体制を整えています。現在は41

7人の方が利用しています。このような在宅サービスは総合登録制度が便利です。一度申し込めばさまざまなサービスをいちいち申請しなくても利用できるものです。

また老人ホームが整っているのも小田原市の特徴。市内の特別養護老人ホームは現在、入居に35〜4か月待ちですが、県内の他の市町村では15〜2年待ちがふつうなので、かなり早いほうです。現在85〜90人の方が入居を待つておられますが、来年5月に新しい特養ホームが完成しますと、お待ちいただく時間が大幅に短縮されます。

介護保険法案を よりきめ細かな サービスを

現在、国では介護保険法案が審議されていますが、これは利用者の身体の状態によって6段階に分け、その持ち点に応じて自分で介護サービスを選ぶというものです。本人1割負担となります。メリットとしては病院を選ぶように、介護サービスを自分自身で自由に選んで受けられること、民間のサービスが保険で認められるので競争によって質が



平成12年には、市民の6人に1人が高齢者になると予想されます。

小田原市福祉健康部 高齢福祉課長 松野光純

もし、高齢者介護が必要になったら

もしも、あなたやあなたの家族が介護を必要としたとき、市ではさまざまな援助を行います。

①在宅介護の場合

ホームヘルプサービス

介護や日常生活のお手伝いに、ホームヘルパーを24時間対応で派遣します。

ケアセンター（デイサービス）

日帰り・1泊2日で要介護者をお預かりし、生活全般の介護を行います。

短期入所（ショートステイ）

特別な事情がある場合、原則として7日以内で要介護者をお預かりします。

痴呆性老人通所サービス

日中、要介護者を特別養護老人ホームでお預かりします。

ひとり暮らし老人等緊急通報システム

助けを求めたいときに、簡単な操作で緊急事態を通報できます。

老人日常生活用具給付等事業

寝たきりの高齢者が使いやすいよう工夫された日用品を給付・貸与します。

在宅介護支援センター

24時間体制で介護者のさまざまな相談にお応えします。

在宅ねたきり老人訪問歯科診療

歯科医がお宅を訪問し、治療を行います。

在宅ねたきり老人等介護者見舞金

介護する家族の労苦をねぎらうための見舞金をお贈りします。

②施設利用の場合

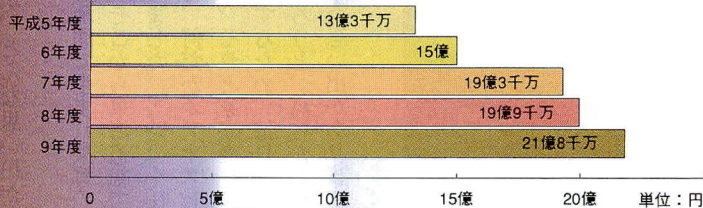
養護老人ホーム

日常生活に支障があったり、住宅事情などの理由で、家庭での介護が困難な、低所得世帯のための施設です。

特別養護老人ホーム

ねたきりや痴呆などの理由で常に介護が必要で、家庭での介護が困難な方のための施設です。

小田原市の老人福祉財政事情



実際に数字で見ると、小田原市の平成9年度一般会計のうち、福祉に充てる民生費は5分の1に当たる21・1%。額にして123億

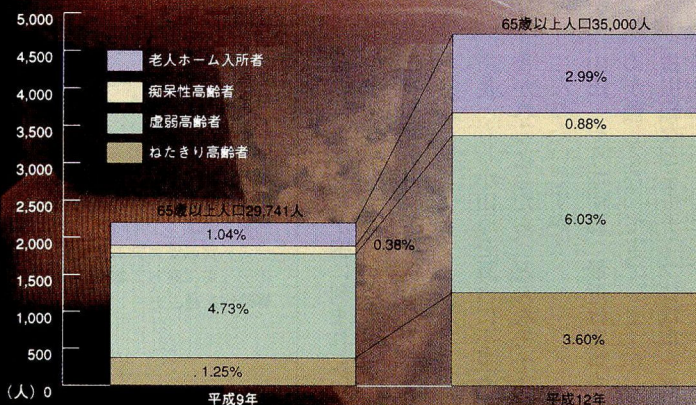
福祉の土壌が深く根づいた小田原は福祉予算の比重も大

小田原が独自の体制や、全国にも先んじたスピーディな対応で福祉サービスを整えているのには、昔から福祉に力を入れてきたという土壌があります。ゴールドプランが決まる以前、市ではすでに研究会を作り、報告書を作成していました。その実績がゴールドプラン決定後もしっかりと息づいています。おだわら高齢者保健福祉計画では特別養護老人ホームのベッド数は420床とされていますが、来年5月に新施設が完成すれば全428床。100%以上のベッド数を確保できていることになります。

向上し、選択肢が広がるということなどです。こうした国の動きを受けて、小田原市でもさらに福祉政策を充実させていく構えです。たとえば今までは介護福祉サービスというと、特養ホームしかないと思われがちでしたが、市には老人ホームと違う老人保健施設の建設も始まっています。これは病院と老人ホーム、病院と在宅の間に当たる中間施設。すぐ病院に、すぐ老人ホームに、というのではなく、老健施設に入るのが最適な方もいるのです。このように市は、より利用者にとってふさわしい、いろいろなサービスを選び細かく用意する体制作りを急いでいる最中。自由にサービスが選べるといっても、どこに何を頼んだらいいかわかりにくい場合に、最も有効となってくるのが在宅介護支援センターの利用です。支援センターに連絡し、どのようなサービスが必要なのか最適なのか相談してみるといいでしょう。

円です。しかも、この数字は年々少しずつ増加中。データによると日本の高齢者の数は増え続け、2030年には4人に一人が65歳以上の高齢者となるといわれています。また小田原市は、平成12年には65歳以上の高齢者が15・9%になると予想されます。大勢の人が元気に長生きできる高齢化社会は、望ましいこと。その中でより多くの人が寝たきりや介護が必要な状態にならないことが理想です。風光明媚で環境のいい小田原市は高齢者数も自然増しており、現在、100歳を越えた方が20人ほどいます。そのうち半数の方が今も寝たきりになることなく、お元気でいらつしやるのは市の誇り。この恵まれた環境の中で高齢者の方が、より安心していつまでも元気に暮らすことができるよう、市ではさらに福祉に力を注いでいきます。

要介護高齢者の推計数



今も心に残る、美しい海岸 日常を愛し続ける小田原でいてほしい

小田原の高校を卒業され、小田原・城下町大使でもある山田太一さん。40年以上前、この地で過ごした青春時代の思い出、今も胸に残る第二のふるさと・小田原への想い、そしてこれからの小田原に望むことを、小澤市長とともに語ってくださいました。

市長 山田さんは小田原で高校時代を過ごされたわけですが、どんな思い出がありますか？

山田 私は強制疎開で生まれ故郷の浅草から湯河原へ移り、そこから東海道線で小田原の高校へ通っていました。当時は小田原の人が都会人に見えて、何だかオズオズしていたのを覚えています。それと家が商売をしていたので、手伝いをするため、毎日夕方は4時08分発の電車に乗ろうと、高校から駅へ向かう坂道を駆けおりた思い出があります。

市長 通学の東海道線の中で淡い恋も経験されたとか。

山田 女学生がみんなきれいに見えて、たまたま女性と二人だけになると、「ここで声をかけなきゃ男じゃない」と思ったりもしましたっけ。

市長 では、東海道線には思い出が詰まっているんですね。

山田 あのころは電車型ではなく、ラッシュもそれほどもなく、デッキに座って風を受けるのが好きで、そこで『風と共に去りぬ』



山田太一さん

シナリオライター・作家。昭和9年生まれ。昭和28年、県立小田原高校卒業。早稲田大学卒業後、松竹に入社。昭和40年、フリーとなり、「岸辺のアルバム」「ふぞろいの林檎たち」「男たちの旅路」など話題のテレビドラマを次々発表。小説「異人たちとの夏」では山本周五郎賞、映画「少年時代」では日本アカデミー賞最優秀脚本賞受賞。東海道線のデッキに座って本に読みふけた青春時代を過ごす。



小田原文学館別館にて

を読んだことをよく覚えています。今でも東海道線に乗って小田原に近づくと、家に帰ってきたような懐かしさでホッとしますね。

市長 山田さんが小田原で過ごされたことは、どんな影響となって残っていますか？

山田 いわく言いがたい無意識の部分で影響が残っているようですね。気候が温暖でゆつたりした風土ならではの、のん気さとか……。小田原のまちが今も穏やかに時代を生きていることが、どこかで私の心の安定につながっているような気がします。

美しい海岸と独特の言葉 今も心に残る小田原の印象

市長 山田さんにとって小田原のイメージとは、どのようなものですか？

山田 やはり海岸を思い出しますね。それから小田原から伊豆あたりにかけての独特の言

葉のニュアンスが胸に刻まれています。今でもそういうニュアンスを感じると、「あれ、この人、小田原あたりかな？」なんて親しみを感じます。

市長 もし小田原を舞台に小説やシナリオを書かれるとしたら、どんなモチーフをお使いになりたいですか？

山田 そうですね。最近は電車を撮影に使うのが難しくなってきましたが、小田原の大雄山線などをモチーフに電車を撮影に貸していただけなら、何か書けるかもしれませんね(笑)。

市長 先日、ハイキングに行こうと電車に乗ったら、車に乗っているのとまったく違った風景が見られましたよ。小さな川の様子など、ふだん気がつかないようなことも見えてきますね。『異人たちとの夏』は、書くネタに困って浅草を歩いているうちに思いつかれた物

しるさを語る。 山田太一さん



「等身大」のおも 小澤市長 vs



語だそうですが、またネタに悩むことがあったら小田原の電車に乗りに行らしててください(笑)。

日常性が小田原の魅力 切り捨てられない弱さも

市長 山田さんは家族の物語を書かれることが多いようです。
山田 家族を書くことは「日常」を描くことだと思います。私たちの生活には、日常と非日常の世界があると思うんです。私が主に選ぶテーマは日常。今は日常にこそドラマがあり、共感を呼ぶものがあると思うわけです。



市長 その日常を小説やシナリオに書かれる際、気をつけていらっしゃることはございますか。

山田 どのような嘘を設定して、かくされているものが表面に浮上して来るか、ですね。日常かくれているものが、表面に出るための仕掛けですね。

市長 小田原というと、どのような家族をイメージされますか？

山田 小田原は東京に近い分、親をきつぱりと切り捨てて東京に住むわけにはいかないでしょう。親と一緒に近くについて、周りに親戚や知人までいると、その目を意識してしまつて先端的なことができない。東京から遠い土地出身の方が思い切ったことをしますね。小田原の人は派手に自分を売り出さないし、過激な人はいないでしょう。

市長 それはそのまま小田原の弱さだといわれていますね。

山田 でもそれはよさでもあるし、考えれば欧米人に比べて日本人に多く見られる性格かもしれません。

市長 私は小田原を「日本のヘソ」と呼んで

いるのですが、ここはある意味で日本を象徴するような土地柄なのかもしれませんね。この小田原をもっと広くアピールするには、どうしたらいいとお考えですか？

山田 まちづくりとか、まちの特徴といったことだと、京都や鎌倉、箱根といったまちは非日常の世界なんです。旅行者はその非日常を味わうために出かけるのだと思います。そういう意味では、小田原は生活感のある、日常の世界だと思えます。非日常的な世界である箱根から下りてきた場所にあるということが、小田原の一つの特徴だと思います。そんな小田原の日常の中の面白さを再発見してもらえたらいいのではないですか。人間にたとえれば、家を離れて飛び出していく人でなく、地道に家に住んで暮らしていくような人。最近、小田原のまちが沸き立ってきた印象を受けるのですが、そういった日常性こそが面白いのだと思います。



小田原文学館で対談する小澤市長と山田太一さん

厚化粧をしない普段着の ままの小田原でいてほしい

市長 小田原は歴史のある城下町なので、保守的な部分もあって、まちづくりのかじ取りはなかなか難しいんです。変えてはいけないところもあるし、変えなくてはいけないところもある。

山田 私はいつでも厚化粧をしない、落着きのある小田原でいてほしいと思います。いやな部分も含めて日常性をなくさずに。「等身大で何が悪い」といながら、ささやかな身の回りを愛しているようなまちであり続けてくれたらうれしいですね。人から見たら平凡かもしれないけれど、細かいところいい部分はたくさんあるでしょう。私は浅草でもよく感じるんですが、たとえば「街はずいぶん変わってしまったけれど、この路地は変わっていない。ここがいいんだよ」というようなこと。そういう部分を、ぜひ大切にしていってほしいですね。



11月3日(祝)文化の日、市民文化祭メイン事業として1,100人の観客に埋め尽くされた市民会館で講演する山田太一さん。今後は、全国津々浦々で小田原のイメージアップを図り、PRする「小田原・城下町大使」として活躍が期待されます。

分別収集から半年 大きな成果 ごみの減量15%

っています。

4月から9月までの収集量ではごみの総量で38900トンと、平成8年度に比べ6700トンおよそ15%のごみが減っています。そのうち、特に埋立量は、40%(10tトラック300台分)も減っています。

また本年度から稼働したりサイクルセンターや分別収集の徹底などによって、今まで埋立れていた鉄・アルミ・プラスチックなどが資源として再利用できるようになりました。そのため、資源化率も昨年の同時期と比べると、12%から24%と倍増しています。

この成果を一時的なものと思わず、さらに効果を上げるためには、分別やりサイクルを進めるだけでなく、ごみを出さない賢い買い物の目を養うなど、今まで以上のご協力が必要になります。

環境総務課 331471

ごみの出し方の ルールは守って

・ペットボトルは、必ずキャップとラベルをはずし、中を洗って。



・ルール違反のごみは収集しません。ごみの出し方をゴミダスやごみの分別カレンダーでもう一度確認して、決められた場所に出すようにしてください。



店も変わります！

小田原商工会議所環境保全委員会委員長

田嶋 享さん

ごみの分別収集の方法が変わって、プラスチック類が新たに分別収集の対象となりました。

ご家庭では、分別が増えたために置き場所に困っていると、特に食品トレーなどのプラスチックごみの多さに改めて驚いた、お店での使用を見直してほしいなどの声が多く聞かれます。

実際に私どもの店でも、お買い物をされたお客様が会計後、商品だけをお持ち帰りになり、トレーは店頭の回収ボックスに入れていられる姿も見られるようになりました。

私どもの店では、トレーをなるべく使わないようにしたり、社内に環境保全委員会をつつて、ごみ問題・環境問題に取り組むなど各店の店長を中心に社員が丸となって体制づくりをしているところなんです。具体的には、お店から出る生ごみは大型の生ごみ処理機によって、大幅に減量しています。

私どもの店に限らず、以前からトレーや牛乳パックの回収、買い物袋の持参運動など、ごみの減量化・再資源化を進めているエコストアが市内にはたくさんあります。また、小田原商工会議所では、



ごみ問題に限らず環境問題全般に事業者としてどう取り組んでいくか現在話し合っているところです。その中では、商品の包装やレジで渡す袋を抑えて買い物袋の持参運動を進めることなどを検討しています。

しかし、以前はトレーに入っていないと清潔でないイメージがあるとか、レジで袋を渡さないとあの店はサービスが悪くなったから買い物をしなとか、消費者の方のご意見もありました。商店は商品が売れなくては商売ができませんので、このことがごみの減量化・再資源化を進める妨げとなっていた面もごさいます。

そこで、時間はかかるかもしれませんが、私たちが事業者者もごみの減量化・再資源化のために変わっていきまので、ぜひ消費者の皆さんもご理解をいただき、ともにこの運動をより効果的なものとしていきたいと思っています。

わが家の工夫

家庭でできること

市政モニター 首藤 加奈さん(草川)

分別収集が始まってトレー・プラスチックや紙・布の置く場所にちよつと困ってしまいますが、わが家では、トレーは小さく切っただかさばらないようにしたり、シャンプーや台所洗剤などはできるだけ詰め替え用品を使うようにして



います。

ペットボトルは飲み終わったらすぐに洗ってその場でラベルをはがすようにしています。後になると面倒になったり、忘れてしまったりするのでこまめにやっています。

また、生ごみを捨てる際には、新聞紙に包んで捨てるようにしているの、水分を吸って容量も減るし、余分な袋を使わずにすんでいます。

細かく分別するようになってから、今まで出していたごみの多さに驚き、できるだけ無駄なものをなくしたいと思うようになったので、買い物をするときには、本のカバーを断ったり、レジでの袋はもらわないように心掛けるようになりまし。ちよつとしたことでごみは随分少なくてできるようになっています。

ごみに対する意識が変わり、これからも工夫してごみを減らしていきたいと思っています。

ダイオキシンの調査結果

小田原市では、ごみ焼却場の焼却炉から排出されるダイオキシン濃度を、昨年の12月に引き続き今年9月に測定しました。

今回の測定結果では、昨年の12月に測定した結果と比べて、わずかではあります減少傾向をみせております。

また、昨年の最高値が8ナノグラム、今回は39ナノグラムと低下していますので、焼却炉の改造を行ったことや今年4月からのごみの分別の成果がダイオキシンの排出低下につながっているものと考えられます。

	4炉の数値幅	4炉平均
平成8年12月	1.2~8ナノグラム	3.85ナノグラム
平成9年9月	1.8~3.9ナノグラム	3.075ナノグラム

ナノグラム…排気ガス1㎡中に含まれるダイオキシンの量で、1ナノグラムは10億分の1グラム。厚生省が示す基準値は80ナノグラムで、平成14年12月1日以降は1ナノグラム

燃せるごみの焼却量26%減!

新しいごみの分別をスタートして、すでに6か月を過ぎました。この間、特に燃せるごみの中から

充電式ニカド電池はリサイクルに!

ビデオカメラや携帯電話などに使われている充電式ニカド電池には、希少な資源が多く使われています。リサイクルすることで、資源の再利用と環境汚染を防止することができます。ニカド電池のリサイクルにご協力ください。

ご使用済みのニカド電池は、市内に25店ある「ニカド電池リサイクル協力店」で回収しています。右のシールが協力店の目印です。

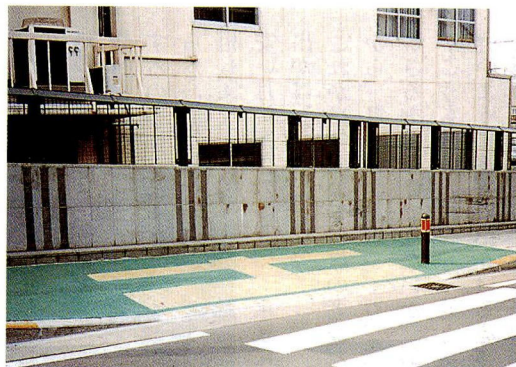
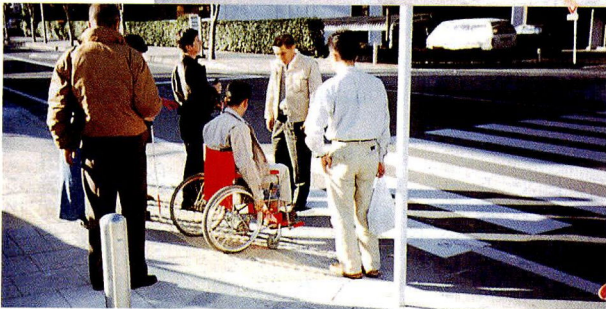
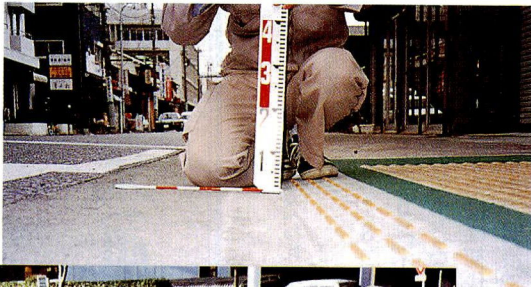
環境総務課 ☎ 33-1471



ペットボトルやトレー・プラスチック容器などごみの分別徹底をお願いし、昨年に比べて燃せるごみの焼却量も半年間で約26%に相当する9700トンも減少しました。今回のダイオキシン調査結果は、昨年の結果とほぼ同程度でありましたが、今回明らかになったダイオキシン濃度をさらに低下させるため、今後とも市民の皆さんの協力をお願いします。

だれにもやさしい福祉のまちづくりをめざして

お年寄りや子供も、障害者も快適で、安全に行動しやすいまちにするため、「だれにもやさしい福祉のまちづくり」を、いま進めています。



進むセーフティロード

車いすの人やお年寄りのため、横断歩道部分の段差を少なくし、目の不自由な人が安心してまちに出られるよう視覚障害者誘導ブロックを整備する事業です。

福祉のまちづくりは温かい心から

車いすが通れる幅、スロープや手すりの設置、駐車場・トイレなどの確保、視覚障害者誘導ブロックの敷設などを進めています。どんなにまちが整備され、便利になっても、そこに住む人の温かい心がなければ意味はありません。素直な思いやりの気持ちを持ち、お互いの気持ちを伝え合うことで、「だれにもやさしい福祉のまちづくり」に協力してください。

- ① ハンディキャップをもつ方が困っているところをみつけたら、ひとこと声をかけましょう。
- ② 歩道に自転車や物などを置かないようにしましょう。
- ③ 車いすが通れなくなります。

・点字ブロックの上に置かれると、目の不自由な方の目標がなくなりやすくなります。

- ③ バス停留所近くには、物を置かないようにしましょう。目の不自由な方がつまずいてしまいます。

障害福祉課 ☎ 331467



研修で市職員全員がハンディキャップをもつ方の疑似体験を行いました。

歴史街道 小田原を愛した人々⑧
小田原文学館館長 三津木國輝

生涯 一回の暗殺事件に遭遇

室田義文(頑翁)

大正10年(1921)秋、板橋掃雲台に住む益田孝(鈍翁)の招きで、貴族院議員室田義文が、天神山野崎幻庵の安閑草舎隣に「三樹荘」を設けて移り住んだ。

室田義文は、弘化4年(1847)9月19日、江戸小石川の水戸徳川家の藩邸内で生まれ、幼名は一次郎と命名された。水戸藩では、藩令により7歳になると水戸に下り、弘道館で修行することを定めており、一次郎も文武両道を修めた。このころ、水戸藩の郡奉行で、のち桜田門外の変で首領となった金子孫二郎に出会って多くの教訓を得た。萬延元年(1860)3

月3日、江戸城桜田門外の変(水戸、薩摩の浪士による大老井伊直弼の暗殺)は、14歳の義文に強い衝撃を与えた。

明治維新では、官軍として活躍し、明治2年(1869)名を喜三郎義文と改めて新政府に出仕し、その才能を認められ、この年外務省が創設した洋語学校へ推薦入学し、英・仏語を学んだ。ある時、洋語学校を視察した伊藤博文に水府出身の義文は、目をとめられ、公邸への出入りを許された。以後明治42年(1909)10月伊藤博文公に随行し、ハルピン駅頭での伊藤公暗殺事件で、公の最後に立

ち会うまで40年の交わりが続くことになる。

明治11年(1878)サンフランシスコ領事となり渡米、のち天津、釜山などの領事となり、明治31年(1898)には初代メキシコ公使となったが、明治33年に外務官僚の職を辞した。

明治34年貴族院議員に勅せんされ、また伊藤博文、井上馨の依頼で百十銀行(山口銀行)の社長に就任し、経済界へと入っていった。その後、日本不動産(株)、北海道炭礦汽船(株)、日本製鋼(株)の各社長をはじめ、多くの会社経営に携わった。室田義文は天神山に移っても隠棲したわけではなく、貴族院と会社に向くため、豊饒として東京と小田原を往復していたが、益田鈍翁、野崎幻庵との交流はより深まっていった。そして昭和初年には、益田の世話で、飛騨高山の合掌造りを移築し、田舎屋「涼々庵」と命名した。また交流の広い義文であるから、東京、横浜からの知人・友人が天神山の三樹荘を訪れ、多くの情報もたらされた。

この頃の室田義文のことを、交友野崎幻庵は著書「らくがき」に

しかるに驚くのは、東隣三樹荘の頑翁、室田義文だ。この頃のやうにいかなる炎天の時でも、一向平気の平左で、日曜の休日を除くの他は、何処の会社か、銀行に出勤するの知らないが、相も変わらず、安い月給稼ぎのように、東京に出かけて行くのである。これが当年取って83歳の老翁だから、驚くまいと思っても、驚かざるを得ないではないか。翁がこうも暑いのに、せつせと気軽にように稼ぎに出かける心事に至っては、いかに親しい老友の間柄でも、余の知らないことだ。……以下略

室田義文の東京通いは、昭和11年12月脳溢血で倒れるまで続けた。昭和13年(1938)9月5日、92歳の天寿を全うした。正四位勲二等が贈られる。

室田家は現在、孫の福田綾さん(元総務、防衛の各長官、郵政大臣を歴任された福田篤泰氏夫人)の二男、泰弘氏が藤沢市で名跡を継がれている。



室田義文(頑翁)

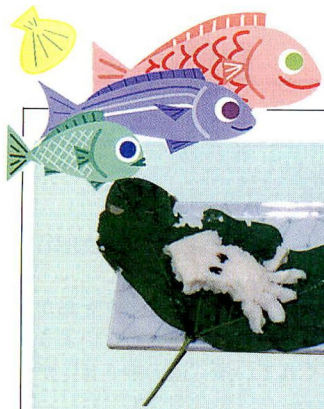


伊藤博文渡満送別記念写真

伊藤博文のハルピン行きを前に、訪れた山県有朋と博文と家族、随行者の記念写真で、2列目向かって右から4番目が室田義文、最前列右から2番目が伊藤博文、同列左から2番目が山県有朋

室田義文胸像 本小白雲作





浜通信

漁師のおかみさんの伝言板

旬の魚、丸ごと食べたり料理したり！

イカの塩辛

日本人はイカが好きです。刺身、塩辛、一夜干し、スルメ、さきイカ、くんせいなどいろいろな料理ができて、それぞれ独特の味わいがあります。塩辛といえはイカの塩辛を思い浮かべると思います。現在、製造され市販されているものの約80%がイカの塩辛なのです。

うまい塩辛を作るポイントは天然塩です。化学分解で作った精製塩（食塩）は、塩化ナトリウムの含有率が98%以上と刺激が強く苦みもあるため、塩辛のうまみや甘みが上手に出せません。これに対して、天然塩は自然のミネラル成分を残しているのあたりがやわらかいのです。

さて簡単にできておいしい、無添加のイカ塩辛の作り方を紹介します。

材 料：

冷凍スルメイカ、荒塩、梅酢、味噌

作り方：

冷凍イカを自然解凍する（急ぎの時は流水で解凍）。シャーベット状になったらミミを取り、キモを傷つけないように胴肉から引き抜く。胴肉を開き（注：イカの胴肉は横に裂けるが塩辛の切り身は縦に切る）、ゲソとキモを切り分ける。キモについている墨を破らな

いように取り外し、周りの薄い皮をていねいに取り除く。ザルに斜めに立てておき、水分が出てきたら塩をきつくする。1時間ほどでキモを絞ります。まな板の上で十分に包丁でたたくと舌ざわりが良くなる（注：塩を一度にきつくすると、水分が十分にでず、臭みが残り味も悪くなる）。イカ胴肉に対し、重さで15~20%のキモを用意し、キモに対し10%の荒塩を入れ、よくかき混ぜてからイカ胴肉を加える（注：このとき梅酢を加えると香りと味がよくなる）。2~3日目から食べごろになるが、1週間ほど冷蔵庫で成熟させた方がコクが出る。毎日数回、清潔な箸などでかき混ぜる。

おまけとして紹介。ゲソとミミを、水で薄めた梅酢（1：1）に10分間ほどつけておき、残ったキモに対して2倍量の味噌を加えて、ゲソとミミを入れかき混ぜる。味噌を入

れるところがミソ！小田原の梅で作った梅酢を使い、おいしい塩辛を作ってみましょう！

イカだんご

材 料：

冷凍スルメイカ、ラード、荒塩、だし、醤油

作り方：

イカを解凍し、皮をむく。イカ肉の約15%のラードを用意し、すり鉢かフードカッターにイカ肉・ラード・荒塩・調味料の順に入れ、十分に練る。粘りが強いようだったら片栗粉を加える。製氷皿のような容器に詰めて冷凍保存するか、ボール状に作ったものを沸騰している鍋に入れ、十分に火を通しザルに上げて冷やす。だんごを串に刺し、さつとあぶり焼きしても美味しい！

協力：小田原市漁協婦人部

釣り入門 カッタクリ釣り

カッタクリ釣りは相模湾のワカシ、イナダ釣りに定着し、今ではメジマグロやカツオを釣らせる乗合船にも増えてきました。バケと呼ばれる擬似餌を、上へ上へと手繰り上げる誘いの動作がカッチャクリ。これがカッタクリの語源です。誘い1点張りの釣り方なので、青物だけでなくマダイやアジも釣れます。竿やリールに比べカッタクリの道具ははるかに安く、簡単に手作りも

できます。竿を使わないので魚の動きがダイレクトに感じられ、手にガツンと感触があります。一匹でも釣ったら、その魅力のトリコになること請け合いです。



協力：小田原市漁業協同組合

相談ノートの余白 (4) 不登校生の親たち ~やさしい母親~

小学校3年生K君は、幼稚園から小学校1年までは断続的に休みを繰り返し、2年から不登校となった。

K君の特徴は、私の質問に「お母さん、どうするの」と答えをかならず母親に求め、そして、トランプやゲームも勝つことにこだわった。それは「母親に誉められたい」気持ちの表れだった。この関係は、子供は「いい子と思われたい」、一方母親の方から見れば「何んでも言うことを聞く素直ないい子」と見ることができる。

なぜ、K君は自分自身で判断しなくなってしまったのか。K君の家族はマンションの8階に住んでいたため、遊び場は部屋の中が多くテラスに出るときは母親と一緒に、階段で怪我をしないといけないからと廊下も一緒。たまに公園に行っても、砂場に入ることを母親は叱った。犬のフンで汚れているからだ。

太陽に輝くテラスや緑の公園で遊びたい。しかし、母親の同行が条件、連れて行ってもらうには母親のご機嫌を取るしかなかった。

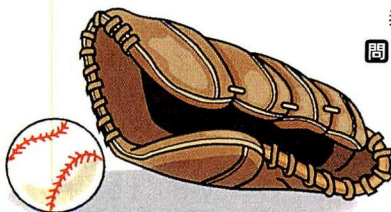
そして母親は愛情豊かに子の手・足・頭脳となって子育てをし、優しいお母さんでいることができた。

「いい子」と「優しい母親」の関係は、学齢期に不登校となって現れた。K君は学校で不安となる。どうしていいか分からない時、それまでいつもそばにいて答えを教えてくれた母親がいない。

2年の1学期、朝になると腹痛が起きるようになった。「母子分離不安」で今も学校に行けない。

「いつも優しいお母さん、あなたの子育てで大丈夫ですか。」

教育相談員 平井 隆
☎教育研究所 ☎33-1727



かながわ・ゆめ国体 おだわら絵画コンクール

応募総数603点の中から、34点の入賞作品が決まり、その表彰式が11月18日(火)に市役所で行われました。(敬称略)

小学生低学年の部 金賞 大澤公誉(矢作小3年)

小学生高学年の部 金賞 藤野嘉仁(東富水小5年)

中学生の部

金賞

鈴木琢己(城南中1年)

国体推進課

☎33-1661



金賞 鈴木琢己
「飛べ夢に向かって」

青少年育成功労者など表彰

11月8日(土) 青少年育成功労者3人、青少年育成推進者18人、善行少年1人と優良青少年団体4団体の方が表彰されました。

受賞された方は次のとおりです。(敬称略)

◆青少年育成功労者

石井敏夫(国府津) 山口幸成(扇町) 椎野典子(前川)

◆青少年育成推進者

原田博(千代) 磯崎義明(田島) 中村憲次(前川) 新井知功(下府中) 石井俊子(中町) 加藤信子(早川) 岩田芳和(南鴨宮) 杉山徹(寿町) 井上まゆみ(新屋) 垂木清野(板橋) 小林美園(曾比) 石塚正俊(羽根尾) 鈴木トシ子(栄町) 門松隆司(飯泉) 杉山隆一(浜町) 大場得道(千代) 譲原真(小八幡) 北村理恵子(鴨宮)

◆善行少年

大浜茂雄(鬼柳)

◆優良青少年団体

タカハシスポーツクラブ、東富水学区連正寺第二子ども会、桜井学区高河原子ども会、国府津学区磯風子ども会

☎ 青少年課 ☎ 33-1723

酒匂川左岸サイクリング場 利用者駐車場オープン

酒匂川左岸サイクリング場の利用者駐車場ができました。

お車でお越しの際は、ぜひご利用下さい。

場所 県酒匂川下水道整備事務所内(西酒匂1-1-54)

日時 土・日・祝日の自転車貸出時間と前後各30分

※詳細は貸出所の案内をご覧ください。

☎ 青少年課 ☎ 33-1724

小田原文学館の展示拡張

12月2日(火)から小田原文学館では、北條秀司コーナーの増設と北原白秋のコーナーを拡張します。

劇作家で文化功労者の北條秀司と幅広いジャンルにわたって創作活動を続けた北原白秋は、ともに小田原をこよなく愛し、小田原時代に数々の名作を発表しています。

北條秀司は、およそ10年の間、小田原に居住し、「王将」・「文楽」などを、また北原白秋は、大正期の8年余りを小田原で過ごし、この時代に発表した童謡の数々は、児童文芸の世界に影響を与えています。

開館時間 午前9時30分～午後4時

休館日 月曜日(祝日の場合は翌日)

観覧料 大人200円、小中学生100円

文学館別館11月23日(祝)オープンしました。

☎ 図書館 ☎ 24-1056

農業委員会委員選挙人名簿の 登載申請

選挙管理委員会では、平成10年の農業委員会委員選挙人名簿を作ります。この名簿は、平成10年1月1日現在で登載される資格がある方の申請に基づいて作ります。

申請書は、農業委員会から農業嘱託員などを通じて、当てはまる方に配ります。

選挙人名簿に登載されていないと農業委員の選挙で投票やリコールの請求ができません。

当てはまる方は、1月9日(金)までに農業委員会に申請書をお持ちください。

●選挙人名簿に登載される資格のある方

市内に住所があり、満20歳(昭和53年4月1日までに生まれた方)以上で次の方

①10アール以上の農地を耕作している方

②①の耕作者の同居の親族またはその配偶者で、耕作日数が年間60日以上の方

③10アール以上の農地を耕作する農業生産法人の組合員または社員で、耕作日数が年間60日以上の方

※選挙人名簿に登載されないと、市街化調整区域内に農家住宅などの新築、増改築に必要な証明書が発行できませんので、必ず申請してください。

☎ 選挙管理委員会 ☎ 33-1741

農業委員会 ☎ 33-1748

出張市民相談室

市役所の市民相談室が1日出張します。

日常生活に必要な簡易な法律相談などについて、相談員が対応します。

日時 12月19日(金) 午前10時～午後4時

場所 マロニエ

当日は、消費生活パネルの展示や交通安全のビデオを放映します。

☎ 市民生活課 ☎ 33-1396

小田原の文化財④ 根府川の道祖神

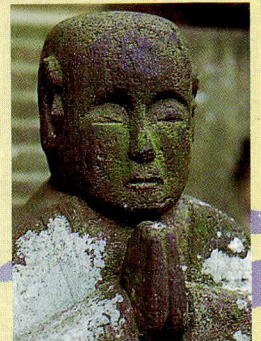
(市指定有形民俗文化財)

道の傍らにあって、道行く人々を温かく見守り、外から悪い者が入らないように見張ってくれている“道の神さま”が道祖神です。

小田原市内に古くからある一つの言い伝えがあります。

昔は月の8日は厄日、特に師走の8日は大厄日といわれていました。その日は、「目一つ小僧」という怖い化け物が「悪い子はいねえか」と家々の子供の様子を探り、帳面に子供たちの悪口を書いて歩き回りました。明け方になって帳面が重くなり、ひと休みしたところが道祖神の前でした。そこで目一つ小僧は帳面を道祖神に預けましたが、道祖神がその帳面をのぞくと悪口を書かれた子供が後でさらわれることになっていたのです。

そこで道祖神は悩んだあげく1月14日のどんど焼きの火でその帳面を燃やして、子供たちを救ったということです。



☎ 文化財保護課 ☎ 33-1714

市民相談

December
12月

①一般相談	休日を除く毎日	
②防災相談	午前9時～午後4時	
③法律相談(予約制)	3日(水)・10日(水) 17日(水)・24日(水)	午後
④税務相談	16日(火)	1時30分
⑤宅地建物取引相談	25日(木)	～3時30分
⑥登記相談	11日(水)	
⑦心配ごと相談	1日(月)・8日(月)・15日(月) 22日(月)	午後1時～3時30分
⑧人権擁護相談	9日(火)・22日(月)	午後1時～3時
⑨行政苦情相談	18日(水) 午後1時～4時	
⑩教育相談	5日(金)・12日(金)・19日(金) 26日(金) 午前9時～11時30分	
⑪消費生活相談	5日(金)・12日(金)・19日(金) 26日(金) 午前9時～午後4時	
⑫建築相談	4日(水) 午後1時30分～4時	(耐震診断など・予約制)

問い合わせ
市民相談室

☎ 33-1383

お知らせ

年末たすけあい運動

12月1日から

☎ 社会福祉協議会 ☎ 35-4000

歳末火災特別警戒

12月26日～31日

つけた火は ちゃんと消すまであなたの火
街頭消火器のいたずらはやめて

☎ 消防本部・消防署 ☎ 49-4410
警防課 ☎ 49-4422



12月 21日(日)～23日(火)
28日(日)～30日(火)
事業課 ☎ 23-1101

おわび

広報おだわら11月1日号でお知らせした統計
グラフコンクールの結果で受賞者のお名前に
誤りがありました。おわびして訂正いたします。
(敬称略)

金賞受賞者 第3部(小学校5・6年生)

- Ⓧ 小高尚晃(富水6年)
- Ⓧ 尾高尚晃(富水6年)

未来の農業「水耕栽培」に取り組む父子

広報レポーター 増田清美

水田だったハウスの中は、晩秋の日を浴びて暖かい。その広いハウスの中に、柔らかな緑色のサラダ菜が行儀よく並んでいる。サラダ菜の水耕栽培をしているのは、県内でただ1軒、天野武さんのお宅だけだ。もとは米作りとみかん農家だったが、思い切った転換をさせたのは、農業新聞の「サラダ菜をやりませんか？」という記事だった。天野さんは「先祖から受け継いだ土地を生かしていけるなら」と、迷いも不安もなかったと言う。だが、土壌栽培とは違い、設備投資をしなければならない。その資金調達に奔走し、準備期間を1年置き、息子の雅雄さんは研修で新しい技術を学んだ。

水耕栽培は、移動する栽培ベッドの上に定植パネルを置き、下には循環する水が流れる仕組みである。種は毎日蒔き、成育状態に合わせて植え直したりベッドを移動する。室内の温度管理など手間はかかるが、

毎日新たな気分が仕事ができる、と雅雄さん。

水耕栽培に転換して5年、協力してやってきた父子だが、作業方法の考え方が違うこともあるという。が、そう話す二人の目は笑っている。信頼しあっている父子に、こちらまで和んでくる。大事に育てられたサラダ菜は、「金太郎サラダ菜」と商標登録された袋に詰められ、1日おきに市場へ出荷する。種蒔きから出荷まで、家族労働を



天野武さん(国府津)

天野雅雄さん

目指していた天野さん父子の、新しい農業だ。

12月4日から10日は人権週間

本市では法務大臣から委嘱された13人の人権擁護委員が基本的人権を守るために活躍しています。

名誉き損やプライバシーの侵害などの人権問題について、自宅で相談に応じています。

また、市民相談室でも毎月第2・第4火曜日(今月は22日(月))に相談窓口を設けています。

一人で悩まずにご相談ください。

- 小林えみ子 城山2-22-18 ☎ 34-5673
- 雨宮秀雄 板橋763-36 ☎ 23-0651
- 神野一江 永塚302 ☎ 42-1422
- 鈴木洋子 早川766 ☎ 24-1181
- 柳川宣枝 本町3-3-12 ☎ 22-0538
- 加藤義七 城山3-12-15 ☎ 22-9309
- 古澤昭二 蓮正寺439 ☎ 36-2939
- 小澤卓二 中村原369 ☎ 43-0183
- 小川迪雄 城山1-23-2 ☎ 34-1443
- 穂谷野賢治 南鴨宮1-5-37 ☎ 47-7697
- 竹井貞雄 久野369 ☎ 34-8570
- 鈕持安男 曾比2375 ☎ 36-0193
- 榊井達也 浜町1-10-35 ☎ 23-2324

☎ 市民相談室 ☎ 33-1383

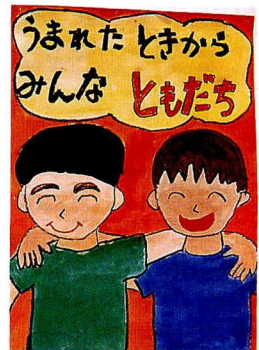
人権ポスターコンクール

豊川・大窪・久野・千代の4小学校の児童による人権ポスターコンクールが行われました。

お互いに相手の立場を思いやることの大切さを訴える作品が198点寄せられました。

(敬称略)

- 金賞 齋藤充弘(大窪小学校5年)
- 銀賞 山田理沙(千代小学校6年)



金賞 齋藤充弘(大窪小学校5年)

- 銅賞 鈴木匠子(千代小学校6年)
- 銅賞 渡部悠紀(豊川小学校4年)

入賞作品ほか92点を12月4日(木)～10日(水)まで市役所2階広報展示ロビーに展示します。

☎ 市民相談室 ☎ 33-1383

工業統計調査にご協力を

通商産業省の「工業統計調査」を、行います。この調査結果は、経済予測や地場産業など、工業の活性化のための基礎資料になります。

調査の対象 製造業に属する事業所

調査の内容 従業者数、製造品出荷額、原材料費などを調べます。また、従業者数30人以上の事業所は、石油などエネルギー消費の実態も調査します。

調査の方法 12月下旬から1月中旬にかけて統計調査員が事業所に伺い、調査票を配布後、回収します。

☎ 県統計課 ☎ 045-201-1111
市行政総務課 ☎ 33-1295

学校の余裕教室「プラザ」が2校オープン

足柄小と桜井小に加えて、12月1日(月)から市民の方は自由にお使いただけます。

時間 午前9時～午後9時

場所 曾我小プラザ(曾我小学校)

前羽小プラザ(前羽小学校)

利用可能人数 40人

利用方法 団体登録(10人以上)し、各プラザの利用割当表に記入

☎ 教育総務課 ☎ 33-1673

水道管の凍結を防ごう!

●外部の立ち上がりや、みぞ、水路を横切っている露出部分には、発砲スチロール保温材を巻くか、布などで保護してください。

●羽目板にぴったり付いているため、発砲スチロールや布が巻けない場合は、厚さ1cmぐらいの板で、「コ」の字形の「とい」を作りくぎ付けし、中におがくずやもみ殻を入れてください。

☎ 給水課 ☎ 41-1235

税金・補助

納税、年金、各種手当について

住宅用地の申告は1月22日まで

住宅用地はそれ以外の土地と固定資産税の計算方法が異なります。次に当てはまる方は住宅用地の申告をしてください。

- ①平成10年1月1日現在、市内に住宅用地をお持ちの方。今までに住宅用地の申告をされ、変更のない方は必要ありません。
- ②平成9年1月1日の時は住宅用地だったが、平成10年1月1日現在は、住宅用地でない土地をお持ちの方
- ③市内に住宅用地をお持ちで、平成10年1月1日現在の同一区画地内の住宅戸数が平成9年1月1日の時と異なっている方

☎資産税課 ☎33-1365

ひとり親家庭の医療証は更新が必要です

ひとり親家庭などの人が病院などで受診したときの支払う健康保険の自己負担額を公費で助成する制度です。

- 入院時の食事療養費は助成の対象外です。
- 現在交付されている医療証は有効期間が12月31日までです。引き続き該当する方には市から新しい医療証を郵送します。

それ以外で、次の条件に該当する方は、お申し出ください。

●対象者

1 ひとり親家庭の父または母と児童

ひとり親とは、次のようにその児童の面倒をみている父または母をいいます。

- ①父または母が死亡した児童
- ②父母が婚姻を解消した児童
- ③父または母が重度の障害の状態にある児童
- ④父または母の生死が明らかでない児童
- ⑤父または母が引き続き1年以上面倒を見ていない児童
- ⑥父または母が法令により1年以上拘禁されている児童
- ⑦母が婚姻によらないで出生した児童(父から認知された児童を除く。)

2 養育者家庭の養育者と児童養育者

父母が死亡した児童と父母が面倒をみない前記1の①から⑦までの児童と同居して、生計を維持するものであり、児童福祉法の里親以外の者をいいます。

●年齢制限

対象となる児童の年齢は、満18歳になった日以後の最初の3月31日までです。

ただし、児童が一定の障害にあるとき、または高等学校に在学しているときは、20歳未満までとなります。

●所得制限

ひとり親などの所得が一定額に満たなければ

ば対象になります。平成10年1月からの場合の所得制限額は次のとおりです。

(平成8年分所得)

扶養親族数	父、母または養育者	孤児などの養育者
0人	2,342,000円	6,216,000円
1人	2,722,000円	6,465,000円
2人	3,102,000円	6,678,000円
3人	3,482,000円	6,891,000円

(注) なお、下記の控除がある場合は、その額を所得額より差し引いて表中の制限額と比べてください。

老人扶養控除	100,000円
老人控除対象配偶者	100,000円
特別障害者控除	350,000円
特定扶養親族	150,000円
社会・生命保険料相当額(一律)	80,000円
老年者控除	500,000円
障害者控除	270,000円
寡婦(夫)控除	270,000円
勤労学生控除	270,000円
特別寡婦控除	350,000円

控除相当額を差し引くもの

- ・雑損控除
- ・医療費控除
- ・小規模企業共済等掛金控除
- ・配偶者特別控除

☎保険年金課 ☎33-1843

不動産の変更届はお早めに!

田畑や山林を宅地などに変更したときや、家屋を新築、増築、取り壊し(滅失)したときは、かならず1か月以内に登記所に登記申請してください。申請されないと固定資産税が、正しく課税されないことがありますのでご注意ください。

年末の登記事務は12月26日(金)まで取り扱いますが、年末は大変混雑します。お早めに申請してください。

☎市資産税課 ☎33-1361

横浜地方法務局小田原支局 ☎23-0181

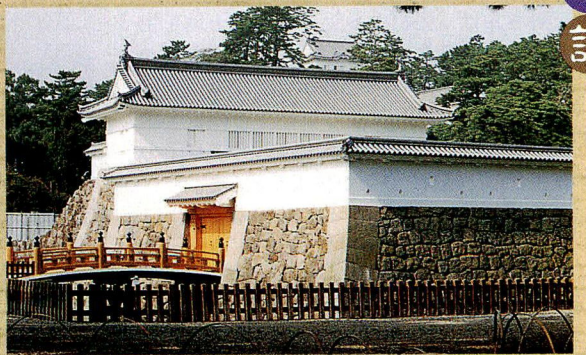
銅門 いよいよ銅門が全貌を現す

オープンには桜前線が到着するころ。

平成6年度から工事を進めていた銅門

が、足場も取れ、勇壮な姿を現しました。観光客は、その姿を背景に記念撮影を楽しんでいます。

今後は銅門から常盤木橋へ通じる園路などの仮整備工事を実施します。これによって、小田原城の本来の登城ルートが、およそ百年ぶりによみがえることになります。銅門はこの仮整備工事終了後、現在改装中の(仮称)小田原城歴史体験施設と同時に来年春にオープンする予定です。



☎文化財保護課 ☎33-1718

お知らせ

市・官公庁からのお知らせ

神奈川県学校保健功労者表彰

10月30日(木)に県学校保健安全研究大会で、学校保健功労者として、次の方が表彰されました。

学校保健功労者(敬称略)

梅津光司(前羽小学校学校医)

大友信(千代中学校学校医)

荊木良夫(三の丸小学校学校医)

平野美恵子(泉中学校学校薬剤師)

☎学校保健課 ☎33-1691

災害用井戸を指定しました。目印はプレート!

災害時の応急給水体制をより充実させるため、災害用井戸を指定し、標識プレートの設置を進めています。いざというとき、飲料水としてご利用できます。

昨年、市内全域を対象に「井戸の実態調査アンケート」を実施し、この結果をもとに、150メートル四方につき1件を選び水質検査を行いました。これは、一定の水質基準に適合した井戸を災害用として指定するものです。今後も、井戸の実態調査アンケートでご協力をいただける井戸の水質を検査して、標識板を順次設置していきますのでご協力をお願いします。

☎防災対策課 ☎33-1855



小田原
彩時記

こどもの行事

児童対象の行事など

アニメ

A 尊徳記念館会場

日時 12月13日(土) 午前10時～、午後2時～
(開場は10分前)

定員 60人

プログラム むく鳥の夢・ある島のきつね、
北風と太陽、ミッキーマウスとゆかいな仲間たち

☎ 尊徳記念館 ☎ 36-2381

B かもめ図書館会場

時間 午後1時30分～(1時開場)

定員 180人

プログラム

①12月7日(日) きつねのしっぽ、小さなバイキングピッケ 大きな木馬のおくりもの

②12月13日(土) 赤毛のアン5

③12月14日(日) 笠地蔵、日本名作童話 母子星

C 市立図書館会場

時間 午後1時30分～(1時開場)

定員 80人

プログラム

①12月21日(日) ミッキーマウスの楽しい冬、くまのプーさん プーさんと大あらし

☎ かもめ図書館 ☎ 49-7800

えほんのよみきかせ 冬のお楽しみ会

日時 12月20日(土) 午後3時～4時

場所 市立図書館

出演 えほんのよみきかせグループ「すずの会」

プログラム おはなし、えほん、手あそび、
大型紙しばい、パネルシアター、小さな人形劇

☎ 市立図書館 ☎ 24-1057

としょかんにんぎょうげきじょう

日時 12月21日(日) 午前10時30分～11時30分

開場 10時

場所 かもめ図書館

出演 旭丘高校児童文化部

☎ 市立図書館 ☎ 24-1057

児童プラザラッコ「クリスマス会」

●12月20日(土) 午後2時～

手あそび・ゲーム・うた・紙人形劇
「3つのねがいのたまてばこ」

●12月23日(祝) 午後2時～

手あそび・巻物「大きなおもい」・大型紙芝居「グリとグラ」

対象 小学生以下(未就学児は保護者同伴)

場所 マロニエ

☎ マロニエ ☎ 47-1515

スポーツ

各種スポーツ大会、講習会など

スポーツ会館・トレーニングルーム利用者講習会

トレーニングルームを利用する方のための講習会です。高校生から利用できます。

日時 12月17日(水) 午後6時30分～8時

1月10日(土) 午後1時30分～3時

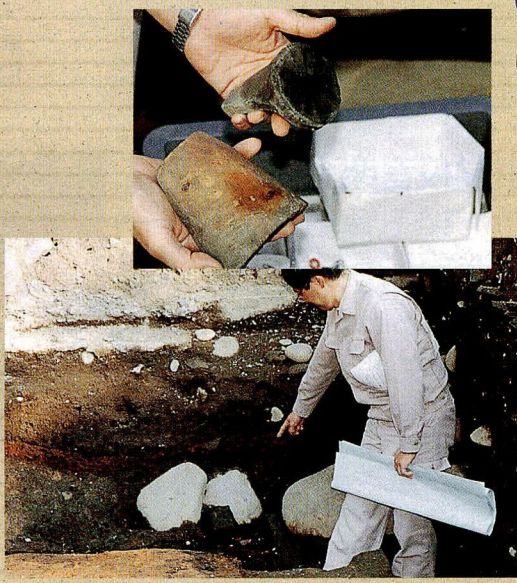
☎ スポーツ会館 ☎ 23-2465

小田原城二の丸御殿の焼け跡発見

発見されたのは旧三の丸小学校跡地。地下0.6～1.8m付近から、最大17cm帯の鮮やかなオレンジ色の焼土とともに、焼け落ちた釘や木材、陶磁器、瓦などが出土しました。この焼土層を覆うように宝永4年(1707)に降った富士山の火山灰が確認されており、焼土層がその直前の元禄16年(1703)に起こった大地震で類焼した二の丸御殿のものであることはほぼ確実と見られています。

小田原城の本丸御殿は将軍上洛の際に将軍の宿泊にのみ使われ、この二の丸御殿は当時の城主・大久保氏のための館として使われていました。城主の館の跡が発見されたことで、今後の調査にも大きな期待が寄せられています。

☎ 文化財保護課 ☎ 33-1718



西湘地区体育センターの催し

●フィットネス教室

日時 1月9日～3月20日の金曜日・全10回
午後1時30分～3時30分

対象 16歳以上90人・抽選

参加料 1,730円

☎ 申込 12月19日(金) 午後1時30分に直接

●生涯スポーツ安全講習会

S.A.Q.トレーニングの方法とスポーツ傷害の予防

日時 1月17日(土) 午後1時～4時

対象 地域のスポーツリーダー40人

参加料 1,800円

☎ 申込 12月2日(火)～23日(祝) までに、

西湘地区体育センター ☎ 48-2650

小田原城元旦マラソン

日時 1月1日(木) 午前9時30分(小雨決行)

受付 午前8時～8時45分

場所 小田原城天守閣広場

コース 小田原城址公園周回コース

種別 1部(5km)、2部(7km)

参加料 1,000円 当日受付

☎ 陸上競技協会会長・譲原 ☎ 47-3791

スキー教室

志賀高原スキーツアーで全日本スキー連盟公認指導員が初心者から上級者までレベルにあわせて指導します。

●オープニングスキーコース

日時 12月30日(火)(夜出発)～1月2日(金)(夜帰着) 3泊4日

定員 80人・先着順

参加料 大人47,000円、子供44,000円(1泊2食付、バス代、講習料ほか)

●お正月スキーコース

日時 1月1日(木)(夜出発)～1月4日(日)(夜帰着) 3泊4日

定員 40人・先着順

参加料 大人47,000円、子供44,000円(1泊2食付、バス代、講習料ほか)

☎ 申込 小田原スキー協会事務局(松浦スポーツ内) ☎ 24-1855

募集

人員、作品、参加者の募集など

臨時給食調理員

学校給食センターで働く、臨時給食調理員を募集します。

パート 2人、週5日、午前8時30分～午後3時、45歳まで、時給770円

内容 調理と食器の洗浄

☎ 申込 12月10日(水) までに、

学校給食センター ☎ 36-7512

クリスマスの本を見よう

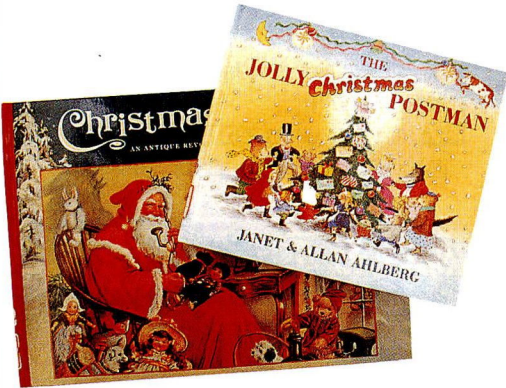
クリスマスの絵本、パーティーを楽しく演出するための資料を展示します。クリスマスが待ち遠しくなりますよ。

日時 12月22日(月)まで 午前10時～午後5時
土・日曜日は休館

場所 小田原女子短期大学

※ 車での来場はご遠慮ください。

☎小田原女子短期大学 ☎22-8253



講座・教室

講演会・展示・発表

自然探究会 冬鳥を観察しよう

冬になると、酒匂川にはたくさんの渡り鳥がやってきます。

日時 12月13日(土)雨天中止

集合 蛸田駅前 午前9時30分

解散 酒匂川河口 午後2時

コース 蛸田駅～飯泉橋～酒匂川河口

対象 小学校4年生以上・50人・先着順

講師 西湘鳥類標識グループ・室伏友三さん

申込 12月6日(土)から、

郷土文化館 ☎23-1377

しめ飾り作り体験教室

自分で作ったしめ飾りでお正月。

日時 12月23日(祝)午後1時～3時

場所 梅の里センター

定員 20人・先着順

参加料 1人1,000円(材料費、小学校3年生以下は無料)

申込 梅の里センター ☎42-5321

わら細工教室

正月のお飾りを作ってみよう。

日時 12月21日(日)午後1時～4時

場所 尊徳記念館

定員 小学4年生以上40人

参加料 1,000円(材料費)

申込 12月5日(金)から、

尊徳記念館 ☎36-2381

寒さなんか吹き飛ばせ! 酒匂川ウオッチング

水辺に集まる渡り鳥、河原の丸っこい石。酒匂川には興味を引く自然がいっぱい。新しい友達と河原を歩こう。

日時 12月26日(金) 午前9時～11時30分(雨天中止)

集合 かもめ図書館 午前8時50分

対象 小学校3年生～中学生20人・先着順

参加料 50円(保険料)

申込 12月10日(水)から、

市立図書館 ☎24-1057

クリスマス料理教室

いつもと違ったクリスマス!

日時 12月19日(金) 午前10時～午後1時

場所 尊徳記念館

講師 料理研究家 高木雅子さん

対象 18歳以上・20人

参加料 1,000円

メニュー ①クリスマスケーキ ②冷凍パイシートを使ったチキンパイ、ひいらぎのリーフパイ ③ツリーサラダ

申込方法 12月13日(土)午後1時30分から尊徳記念館にて受け付け。往復はがきでも可(住所、氏名、年齢、電話番号を書いて12月12日(金)必着)受付開始時点で定員を超えるときは、はがきを含め、ただちに抽選

申込 〒250 小田原市栢山2065-1

小田原市尊徳記念館 ☎36-2381

年末年始の交通事故防止運動 12月11日(木)～20日(土)

ゆく年くる年

みんな笑顔で交通安全

飲んだら乗るな! 乗るなら飲むな!
飲酒運転は絶対にやめましょう。

市民生活課 ☎33-1853

小学校音楽会

11月6日(木)・7日(金)に市民会館で市内小学校25校の5年生を中心とした児童が集い、音楽会が開催されました。

何度も何度も練習した曲でも、ステージには緊張感いっぱい。日ごろの練習の成果を発表しました。

合唱・合奏・特別演奏と次第に盛り上がり、「エレクトリカル・パレード」「構成組曲・花がきれいに見えた」「これが私の生きる道」などのおなじみの曲に会場は拍手喝采。楽しい1日を過ごしました。

富水小学校・伊東 ☎36-3291

市民プラザ

小田原少年少女合唱隊
マルベリー・クワイア&マルベリー・メール・クワイア
クリスマス チャリティー コンサート

日時 12月14日(日)午後2時開演

場所 市民会館

内容 もろびと こぞりて

曲名 サウンド・オブ・ミュージック

チケット 1,500円(志澤デパート・井上

楽器にて)当日券あり 団員募集中

内田 ☎37-8658

西湘ブロック探鳥会 (日本野鳥の会)

日時 1月10日(土)・18日(日)

集合 小田原駅西口 午前9時

内容 丹沢湖でオシドリ観察

交通費 500円

申込 実施日の2日前までに、

類 ☎36-9563

フラワーガーデン花だより

■シクラメン品種展示会

人気の鉢花「シクラメン」を展示します。14日の午後1時から即売します。

日時 12月9日(火)～14日(日)午前9時～午後4時(最終日は完売後終了)

■園芸教室「松竹梅の寄せ植え教室」

お正月用に、あなただけの「松竹梅」を作りましょう。

日時 12月13日(土)午後1時30分～3時

受講料 3,000円(材料費)

申込 12月1日(月)午前10時～(先着30人)

花情報

花壇ではパンジー・ハボタン・ビオラほか温室ではハイビスカス・冬ベコニア・シクラメンほか

草花即売会 12月14日(日)・28日(日)

小田原フラワーガーデン ☎34-2814

小田原 彩時記



イベント

各種催しものなど

市民劇場 小田原室内合奏団演奏会

市民ロビーコンサートなどでおなじみの湯川和雄さんや白井英治さんをはじめ、小田原にゆかりのあるプロ演奏者による室内合奏団!

指揮者にゲルハルト・ボッセ氏を迎え、すてきな夜をどうぞ。

日時 12月20日(土) 午後7時～(午後6時30分開場)

場所 市民会館

入場料 S席 4,500円 A席 3,500円 学生席 1,000円(限定100席)

前売り 市民会館、大村楽器、井上楽器で好評発売中

☎市民生活課 ☎33-1396



あなたも参加を 「おだわら・おんなの交流会」

「日本女性会議97おかやま」など、いろいろな会議に参加した女性たちが、元気な活

今回の表紙

計画途中で中止を余儀なくされた小田原ホテルが、もしオープンしていたら、とポスターを擬して表紙にしました。

巻頭でも紹介しているように、その設計は、近代建築史に残るアメリカの建築家F.L.ライト氏によるもの。

小田原ホテルは、大正から昭和の初期にかけて進められていた小田原ミュージメントセンター計画の一つ。時代を先取りしたその壮大な計画は、ロマンさを感じさせます。

さて、来年は新総合計画のスタートの年。市民の皆さんのご意見を伺いながら進めているこの計画づくりも大詰めを迎えています。基本理念は、一世界にきらめく「明日の1000年都市おだわら」

一緒に考えてみませんか。明日の小田原市に夢を馳せて。

表紙の写真 米国人俳優D.フェアバンクス、M.ビッグフォード夫妻 嶋写真真店(箱根町宮ノ下)、小田原城跡御用邸 高野肇さん提供

動や交流の様子をお伝えします。

あなたも参加して、情報交換や新しいネットワークづくりを体験しましょう。

日時 12月20日(土) 午後1時30分～3時30分

場所 中央公民館

託児 2歳以上就学前まで(予約制)

内容

会議名	発表者
日本女性会議'97おかやま	託児がなければちの会 田近純子さん
北海道・東北・関東甲信越地区男女共同参画推進地域会議	8年度女性かが卒業生 倉橋恭子さん
男女共同参画社会づくりに向けての全国会議	小田原市民生委員児童委員 石塚智榮子さん

☎女性行政室 ☎33-1725

交通安全ポスター入賞作品を展示

日時 12月11日(木)～19日(金)

場所 市役所2階市民ロビー

☎市民生活課 ☎33-1851

ふれあい発信基地・西洲 ともしびフェスティバル'97

日時 12月19日(金) 午後1時～

場所 市民会館

講演 「人生って支えあっこ」

牟田悌三さん(俳優)

内容 手話通訳、要約筆記(予約必要、12月5日までに『かながわともしび財団』へ)

その他 身近な材料を使つての手さげかご、手まりなどを作る手作りコーナー・かまぼこのお寿司と飾り切り体験試食コーナー・障害者施設などの製品販売コーナー

☎社会福祉協議会 ☎35-4000 FAX35-6902

かながわともしび財団 ☎045-312-1121

FAX045-320-2966

県西地区障害者作品展

施設、学校、障害者サークルでは、作品展にむけて最後の仕上げにがんばっています。

心に残る素晴らしい作品に出会えます。

日時 12月18日(木) 午前10時～午後5時

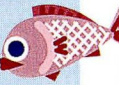
とれたての魚をどうぞ 小田原・港の朝市

12月は毎週土曜日と29日(月)に開催
(27日と29日は朝市感謝デイの大売り出し)

時間 鮮魚は午前9時～
(鮮魚以外は午前8時30分～)

場所 小田原漁港 西側岸壁

☎市漁協 ☎22-6617



19日(金) 午前9時～午後5時

20日(土) 午前9時～午後4時

場所 市民会館

☎障害福祉課 ☎33-1467

中学生の主張発表 私たちの声を聞いてください!

日ごろ、中学生が日常生活や学校、団体生活などの体験を通して考えていること、意見などを中学生自身の声で発表します。

今、中学生が何を感じ、何を考えているのかを知るチャンスです。

日時 12月13日(土) 午後1時～

場所 中央公民館

☎青少年課 ☎33-1723

市民劇場 「つるの恩返し」・「ごんぎつね」

日時 2月11日(祝) 午後2時～

場所 市民会館(全席自由席・抽選)

申込 1月10日(消印有効)までに、往復はがきに住所、氏名、年齢、性別、電話番号、希望人数(5人以内)を書いて、〒250 小田原市本町1-5-12 市民会館(1人はがき1枚まで申込可)

この公演は「小田原市ふるさと文化基金」から生じる利子を使って開催するものです。

☎市民会館 ☎22-7146

シクラメンの出荷に大忙し

いまやこの時期を代表する鉢花のシクラメン。生育温度・日照時間・灌水などに気を使い、大切に育てます。

小田原では現在6戸の栽培農家があり、21,000鉢を県内・東京・静岡などに出荷しています。

主力品種は、在来種のパーシカム系やパステル系統(蛍光灯の下で映える色で若者向き)で、最近では花弁の先が変色するものや縁取りのあるものが開発されています。

今、農家では、クリスマス時期を目前に出荷に大忙し。

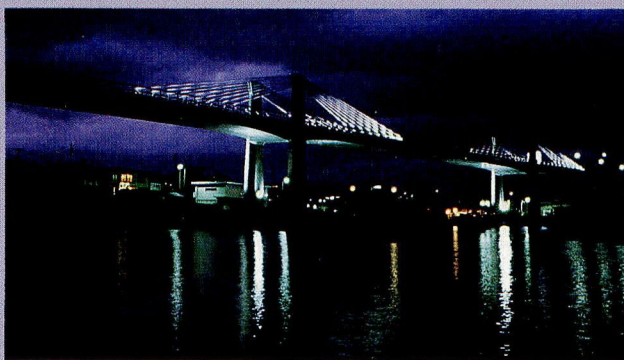
協力 秋沢忠秋さん(沼代) ☎農政課 ☎33-1494



広報 おだわら

December 1, 1997 No.712

message



ブルーウェイブリッジ

小田原漁港から眺めると、漁港の水面に映るシルエットがすてきです。平成7年に開通し、新しい小田原の顔となりました。ライトアップは土曜・日曜・祝日午後8時まで。12月20日(土)以降は年内毎日点灯



小田原の夜景

1,000年以上にわたり郷土の歴史は、脈々と受け継がれてきました。さて、どこから見た夜景でしょう。



小田原城

青白く夜空に浮かぶ幽玄な天守閣。歴代の城主もどんな心情でこの天守閣を望んだことでしょうか。ライトアップは毎日午後10時まで



市立病院

2,200個のイルミネーションにあたりは夢の世界。しばし足をとめるほどの美しさに心なごます灯りは、病院のシンボル。8日から26日までの毎日午後9時まで

**あかりがあたたかい
夜の
ODAWARA**

**12月。1年で一番にぎやかな月。
クリスマスの月。
街があかりで華やかな月。**

寒い冬の夜空に、あたたかいあかりを灯すイルミネーションに導かれて、1人で出掛けるもよし。
あの人と2人で出掛けるのもすてきです。
新旧の歴史が織りなす美しい演出に、
きっとあなたも満足するはずです。



小田原駅前

数々の店のネオン・ライトに、人々は集い、憩い、そして賑わいます。今年も色とりどりの街のあかりに、楽しそうな歓声がかたまることでしょうか。

関東学院大学

700個のイルミネーションに飾られたクリスマスツリーは荻窪のキャンパスで。25日までの毎日午後9時まで



青橋

平成4年に掛け替えられた生活道路も夜にはあたたかい灯りに包まれます。街灯はちょうちんをイメージしています。このほか市内には、ちょうちんをイメージした街灯がいくつもあります。探してみてください。

小田原アリーナ

夜になると、館内の照明が外に漏れ、自らをライトアップ。酒匂川のほとりに大きな小田原ちょうちんが浮かび上がります。

